

多様な活動が可能な空間を備えた公共図書館の立地等の施設特性に関する研究

Research on the characteristics of facilities such as the location of public libraries with space for diverse activities

佐藤真綺*・吉川徹**・讃岐亮**

Maki SATO*, Tohru YOSHIKAWA** and Ryo SANUKI**

In recent years, an increasing number of libraries are offering a space that breaks the traditional library concept of "reading in a quiet space". In this study, we refer to "space where users can freely and actively participate in a variety of activities while enjoying a rich and relaxing atmosphere." as "free space", and focus on libraries with free space. The purpose of this study is to clarify the relationship between the characteristics of facilities such as location and the existence as well as content of free space in the building. The results are as follows. There was no correlation between the location of the library and the existence of free space in the library or the content of the free space. In contrast, there was a correlation between the size of the library as well as the year of construction and the existence of free space. In addition, although there was a tendency for the central library in each city to have free space, the amount of free space in the central library was not related to the size of the central library.

Keywords: public library, location, a variety of spaces, Free Space, facility characteristics
 公共図書館、立地、多様な空間、フリースペース、施設特性

1. 研究の背景と目的

1-1. 背景

図書館法によると、図書館は、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」とされている。¹⁾そして近年、「話してはいけない、静かな空間で読書をする」という従来の図書館の概念を破り、本を読む以外の機能を持ち、「時間」をも楽しむことが出来る空間を提供している図書館等が増えつつある。このような図書館は、例えば、武蔵野プレイス・茅野市民館・せんだいメディアテークなど日本建築学会賞を受賞したのものの中にも多く見られる。これらは、多様なニーズに応えるため、立地等の施設特性に特徴があるのではないかと予想される。

1-2. 目的

これを踏まえ本研究では、利用者が「心豊かに寛ぎ多様な活動(休息、飲食、読書、会話、パソコン・スマホ使用等を含む)を自主的、積極的に行える空間」(以下、フリースペースと呼び、FSと略す)を備えた図書館に注目し、立地等の施設特性と館内のFSの有無や内容の関連性を明らかにすることを目的とする。

1-3. 関連する既往研究

公共図書館と立地等を扱う既往研究である、磯矢ら²⁾のもの来館者数変動を分類し立地との関連性を示した分析であり、館内空間には注目していない。また、古田ら³⁾は館内空間に着目しているが、空間整備状況の分析であるため、館内空間の有無や内容を対象としていない。このように、既往研究ではFSの有無と立地等の関係を対象としているものは見あたらない。

2. 研究方法

2-1. 実態調査

本研究では、比較のため上記の武蔵野プレイスを含み、また、公共交通主体の地域で、住宅地だけでなく通勤・通学で流動があるターミナル駅を含む市区を対象とした。具体的には、世田谷区・三鷹市・武蔵野市・杉並区・調布市・渋谷区・新宿区・豊島区・目黒区・中野区・練馬区・板橋区の12市区、計111館を調査対象とした(表1)。

この調査対象地域ごとに、各図書館の特性を表2から表13のように「最寄り駅からの距離」「年度(開館・現況)」「延床面積」「施設形態」「FS(全て・無料・メインの動線上)」の8項目でまとめた。この結果、111館中36館にFSがあることが分かった。また、それぞれの市区の中央図書館には、FSがある傾向が読み取れた。^{4)~21)}

表1 調査対象地域

対象図書館数(館)							
世田谷区	16	杉並区	13	新宿区	10 ^{*3}	中野区	8
三鷹市	4 ^{*1}	調布市	11	豊島区	7	練馬区	12
武蔵野市	3	渋谷区	9 ^{*3}	目黒区	7 ^{*2}	板橋区	11

表2 世田谷区特性⁶⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			全て	無料	メインの動線上
世田谷区立中央図書館	762	1988	1988	5808	複合	×	×	×
代田図書館	23.4	2014	2014	792	複合	×	×	×
尾山台図書館	163	1988	1988	958	複合	×	×	×
砧図書館	571	1994	2015	2242	単独	○	○	×
鳥山図書館	87	1979	2015	1079	複合	×	×	×
桜丘図書館	366	1984	2014	640	複合	×	×	×
下馬図書館	597	1980	2014	1092	単独	×	×	×
梅丘図書館	265	1988	1988	1500	単独	○	○	○
泉沢図書館	42	1973	2013	944	複合	×	×	×
玉川台図書館	476	1973	1973	689	複合	×	×	×
深沢図書館	1582	1981	1981	622	複合	×	×	×
鎌田図書館	1865	1998	1998	1076	複合	×	×	×
粕谷図書館	807	1998	2017	1060	複合	×	×	×
上北沢図書館	260	1989	2016	891	複合	×	×	×
経堂図書館	94	2006	2006	656	単独	×	×	×
世田谷図書館	233	2016	2016	966	複合	×	×	×

*1: 東部図書館は長期休館中のため除く、*2: 緑が丘図書館は長期休館中のため除く、*3: こども図書館は除く、*4: 現在地で図書館が開館した年度、*5: 移転・改修・増築などを最後に行った年度

表3 三鷹市特性⁷⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
三鷹図書館	1995	1984	1984	3172	単独	○	○	○
西部図書館	1847	1987	1987	690	単独	×	×	×
三鷹駅前図書館	426	1994	1994	1002	複合	×	×	×
南部図書館みんなみ	2369	2013	2013	761	複合	○	○	○

表4 武蔵野市特性¹⁰⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
武蔵野市立中央図書館	1195	1995	1995	7548	単独	○	○	×
吉祥寺図書館	304	1987	2018	1656	単独	×	×	×
武蔵野プレイス	100	2011	2011	9810	複合	○	○	○

表5 杉並区特性¹¹⁾¹²⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
杉並区立中央図書館	716	1982	1982	4397	複合	○	×	×
永福図書館	678	1965	1965	1191	単独	×	×	×
宮前図書館	708	1972	1972	1974	複合	×	×	×
成田図書館	676	1985	1985	851	単独	×	×	×
西荻図書館	850	1990	1990	1195	単独	×	×	×
下井草図書館	430	1987	1987	1104	単独	×	×	×
柿木図書館	728	1965	1965	1163	単独	×	×	×
高円寺図書館	870	1967	1967	1895	単独	×	×	×
阿佐谷図書館	905	1993	1993	1087	単独	×	×	×
南荻窪図書館	1324	1993	1993	1061	単独	×	×	×
高井戸図書館	482	1998	1998	1623	複合	×	×	×
方南図書館	685	2005	2005	815	複合	×	×	×
今川図書館	1522	2007	2007	1096	複合	×	×	×

表6 調布市特性¹³⁾¹⁴⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
調布市立中央図書館	316	1995	2007	4367	複合	×	×	×
国領分館	220	1969	1990	324	複合	×	×	×
調和分館	911	2002	2002	379	複合	×	×	×
深大寺分館	3525	2011	2011	556	単独	○	○	○
神代分館	653	1971	1988	364	複合	×	×	×
宮の下分館	1286	1972	2009	342	複合	×	×	×
緑ヶ丘分館	770	1974	1990	288	単独	×	×	×
富士見分館	1169	1974	1990	334	複合	×	×	×
菟塚分館	994	1975	1989	516	単独	×	×	×
染地分館	1343	1980	1988	369	複合	×	×	×
佐須分館	1138	1982	2004	628	複合	×	×	×

表7 渋谷区特性⁹⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
渋谷区立中央図書館	551	2010	2010	4450	単独	○	○	○
西原図書館	300	1963	2010	631	複合	×	×	×
渋谷図書館	813	1977	1977	1731	単独	○	○	○
富ヶ谷図書館	253	1985	1985	510	複合	×	×	×
本町図書館	443	1989	1989	1400	単独	×	×	×
臨川みんなの図書館	763	2006	2006	924	複合	×	×	×
こもれび大和田図書館	345	2010	2010	608	複合	×	×	×
笹塚図書館	46	2015	2015	440	複合	×	×	×
代々木図書館	430	2008	2008	320	複合	×	×	×

表8 新宿区特性¹⁵⁾¹⁶⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
新宿区立中央図書館	222	2013	2013	4693	単独	○	○	○
四谷図書館	314	1997	1997	2351	複合	×	×	×
大久保図書館	543	1994	1994	730	複合	×	×	×
角筈図書館	666	1989	1989	1042	複合	×	×	×
下落合図書館	470	2017	2017	1091	複合	×	×	×
鶴巻図書館	352	1974	1974	654	単独	×	×	×
西落合図書館	535	1979	1979	527	単独	×	×	×
戸山図書館	571	1980	1980	1121	複合	×	×	×
北新宿図書館	718	1982	1982	593	複合	×	×	×
中町図書館	365	1973	1973	515	複合	×	×	×

表9 豊島区特性⁸⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
豊島区立中央図書館	35	2007	2007	3065	複合	○	○	○
駒込図書館	131	1981	2016	739	複合	×	×	×
豊島図書館	573	1968	2015	1018	単独	○	○	○
上池袋図書館	454	1993	1993	1471	単独	×	×	×
池袋図書館	814	1986	1986	1324	単独	×	×	×
目白図書館	511	1981	2008	1044	単独	○	○	○
千早図書館	467	1971	2015	1143	単独	○	○	○

表10 目黒区特性¹⁷⁾¹⁸⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
八雲中央図書館	592	2002	2002	6572	複合	○	○	○
大橋図書館	420	2013	2013	1168	複合	×	×	×
中目黒駅前図書館	166	2002	2002	687	複合	×	×	×
目黒区民センター図書館	856	1974	1993	1339	複合	×	×	×
守屋図書館	488	1952	1991	1282	単独	×	×	×
目黒本町図書館	1047	1981	1981	1005	単独	×	×	×
洗足図書館	362	1988	1988	517	単独	○	○	○

表11 中野区特性¹⁹⁾²⁰⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
中野区立中央図書館	523	1993	1993	4480	複合	×	×	×
本町図書館	683	1968	1968	453	単独	○	○	○
野方図書館	436	1969	2010	1460	単独	×	×	×
南台図書館	741	1978	1978	557	単独	×	×	×
新宮図書館	186	1979	2008	697	複合	×	×	×
東中野図書館	210	1984	1984	1304	複合	×	×	×
江古田図書館	1595	1988	1988	716	単独	×	×	×
上高田図書館	560	1988	1988	775	複合	×	×	×

表12 練馬区特性⁴⁾⁵⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
光が丘図書館	637	1995	1995	3576	単独	○	○	×
練馬図書館	521	1962	1985	1638	複合	×	×	×
石神井図書館	1334	1970	2010	2192	単独	○	○	○
平礼図書館	1372	1976	2016	2078	単独	○	○	○
大泉図書館	1330	1980	2008	1975	単独	○	○	○
関町図書館	989	1992	2017	1553	単独	○	○	○
青井図書館	154	1985	1985	1431	複合	×	×	×
稲荷山図書館	2286	1988	1993	913	単独	×	×	×
小竹図書館	424	1990	1990	794	単独	○	○	○
南大泉図書館	1045	1993	2012	711	複合	○	○	○
春日町図書館	52	1996	1996	1709	単独	×	×	×
南田中央図書館	755	2009	2009	920	単独	○	○	○

表13 板橋区特性²¹⁾

	最寄り駅からの距離(m)	年度(年)		延床面積(m ²)	施設形態	フリースペース(有:○、無:×)		
		開館	現況			メインの動線上		
						全て	無料	メインの動線上
板橋区立中央図書館	276	1970	1970	2907	単独	○	○	×
赤塚図書館	1093	2011	2011	1428	複合	×	×	×
清水図書館	358	2010	2010	265	複合	×	×	×
環状図書館	363	1978	1978	1052	複合	○	○	○
水川図書館	699	1982	1982	1426	単独	○	○	○
高島平図書館	311	1982	1984	2766	単独	○	○	○
東板橋図書館	752	1986	1986	1493	単独	○	○	○
小茂根図書館	399	1988	1988	1357	複合	○	○	○
西台図書館	1261	1991	1991	1571	複合	○	○	○
志村図書館	555	1996	1996	2002	複合	○	○	○
成増図書館	201	1997	1997	1669	複合	○	○	○

2-2 ヒアリング調査

FSを置く戦略を知るため、FSを設置している世田谷区(梅丘図書館・砧図書館)と武蔵野市(中央図書館・武蔵野プレイス)へヒアリング調査を行った。

FSの設置理由は、梅丘図書館では、閲覧席の利用が多く、長時間滞在する人が多いことや、近辺に商店が無く不便な立地であるためであることが分かった。⁽¹⁾砧図書館では、単独施設であること、閲覧席の利用が多いことや、移転した際に住民要望があったことであった。⁽²⁾武蔵野市立中央図書館では、小さい子どもの補食スペースとしての利用や、商店街が近くにないため不便な立地であるから設置したことであった。⁽³⁾武蔵野プレイスでは、目的を持たずに来られる場を提供するためであることであった。⁽⁴⁾これらの結果から、図書館ごとにFSを設置しており、図書館の立地と館内のFSの有無に関連があることや、単独施設の方がFSがあるのではないかと予想された。

世田谷区と武蔵野市のFSの設置戦略として、世田谷区では、中央図書館が施策を計画するが、世田谷区全体ではどの図書館にFSを置くかを検討しておらず、要望があれば地域ごとに設置していることが分かった。⁽⁵⁾武蔵野市は、映画会、講演会、講座、展示会等図書館の主催する事業に多目的に利用できる構造の部屋を設置する際は、図書館利用者から要望があった場合、大規模改修等の際の検討材料としており、FSの設置は各館の判断で行っていることが分かった。⁽⁶⁾この結果から、世田谷区と武蔵野市では、市区としてFSをどの図書館に置くべきかを決めていたのではなく、各館単位での判断であることが明らかになった。

2-3. 統計的検定

2-1の実態調査で表2～表13のようにまとめた「最寄り駅からの距離」「年度(開館・現況)」「延床面積」「施設形態」の5項目に「中央図書館」を加えた6項目を、FSの「全て」「無料」「メインの動線上」の有無3種類で適合度検定を行った。この際に、メインの動線上の検定では、各FSを図1に従い、○×△で分類した中で○と△に分類されたものを、「FSがメインの動線上にある」とした。

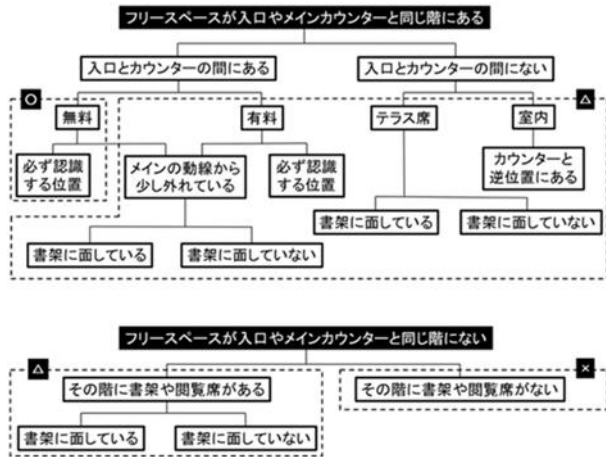


図1 FSの分類

次に、上記6項目は全ての施設を対象として行った検定であるが、実態調査の結果より、さらに中央図書館の延床面積・施設形態や、延床面積を4000㎡未満と4000㎡以上で対象施設を分けて適合度検定を行った。この検定も同様に、FSの「全て」「無料」「メインの動線上」の有無3種類で検定をした。これにより、中央図書館の適合度検定は10項目で行った。

1つの図書館に2か所以上FSがある場合、無料の検定では、無料のみの図書館と、無料・有料の両方ある図書館を、無料FS有とした。メインの動線上の検定では、FSがメインの動線上にある図書館と、ある場合とない場合の両方にある図書館を、メインの動線上に有とした。結果として111館中、全てのFS有は36館、無料FS有は35館、メインの動線上のFS有は28館となった。また、中央図書館は計12館中、全てのFS有は9館、無料FS有は8館、メインの動線上のFS有は4館となった。

3. 結果と考察

3-1. 全体の結果と考察

対象施設が全ての場合、 「最寄り駅からの距離」「開館年度」「現況年度」「延床面積」「施設形態」「中央図書館」の6項目で適合度検定を行った。また、検定結果の一覧を表14にまとめた。

表14より、全対象施設の開館年度と3種類のFSの有無の検定では有意差は認められなかったが、現況年度では有意差が認められた。(全て: $p < 0.1$, 無料・メインの動線上: $p < 0.05$)このことから、開館・現況年度が新しい方にFSがあり、メインの動線上にもFSがある傾向が示された。

メインの動線上のFSの有無に着目すると、表14より延床面積・施設形態で有意差($p < 0.1$)、現況年度($p < 0.05$)で有意差が認められたが、これは年度が新しい図書館の方が、本を閲覧することと、閲覧以外の行為が別であるという従来の考え方に対して寛容になる、あるいは大規模の方が多様な活動に対応するスペースを確保する場に余裕があるからだと考えられる。

3-2. 実態調査結果との考察

実態調査結果より、各市区の中央図書館にはFSがある傾向が示されていた。この傾向を確認するため、同じく適合度検定を行った。表14の分析結果からも中央図書館の方がその他の図書館よりもFSがある傾向が確認できた。この理由として、中央図書館は、他に比べて利用者が多様であるため、多彩なスペースを設けていることと、大規模なためFSを設ける場があることが予想される。

そこで、中央図書館は大規模なためFSを設けているのかどうかを確認するため、延床面積に着目した。全施設についての延床面積と3種類のFSの有無の検定では、表14より有意差($p < 0.01$)が認められ、大規模な図書館にFSが有る傾向が示された。しかし、中央図書館を対象を絞って検定すると、大規模であるとFSが無い図書館が多いことが示唆された。これに加え、図書館の規模が4000㎡未満であると中央図書館の方がFS有の傾向があるが、4000㎡以上ではそのような傾向がないことが示唆された。

従って、中央図書館にFSが多いことと中央図書館が大規模であることには関連がないことが分かった。このこ

表14 分析結果

対象施設	要因	フリースペースの有無(全て)			無料フリースペースの有無			メインの動線上のフリースペースの有無		
		集計区分	p値	傾向	集計区分	p値	傾向	集計区分	p値	傾向
全て	最寄り駅からの距離	1200m	0.296	遠い方がフリースペース有	1200m	0.256	遠い方が無料フリースペース有	1000m	0.179	遠い方がメインの動線上に有
	開館年度	1976年	0.306	新しい方がフリースペース有	1990年	0.451	新しい方が無料フリースペース有	2000年	0.518	新しい方がメインの動線上に有
	現況年度	2008年	0.061*	新しい方がフリースペース有	2008年	0.043**	新しい方が無料フリースペース有	2009年	0.017**	新しい方がメインの動線上に有
	延床面積	1000㎡・1500㎡	0.000***	大きい方がフリースペース有	1000㎡・1500㎡	0.000***	大きい方が無料フリースペース有	1000㎡・1500㎡	0.002***	大きい方がメインの動線上に有
	施設形態	単独施設・複合施設	0.001***	単独施設の方が複合施設よりフリースペース有	単独施設・複合施設	0.000***	単独施設の方が複合施設より無料フリースペース有	単独施設・複合施設	0.003***	単独施設の方が複合施設よりメインの動線上に有
	中央図書館	中央図書館・その他	0.002(F)***	中央図書館の方がフリースペース有	中央図書館・その他	0.009(F)***	中央図書館の方が無料フリースペース有	中央図書館・その他	0.494(F)	中央図書館の方がメインの動線上に有
中央図書館	延床面積	4000㎡	0.491(F)	大きくなるとフリースペース無しが出てくる	4000㎡	0.208(F)*	大きくなると無料フリースペース無しが出てくる	4000㎡	1.000(F)	なし
4000㎡未満	中央図書館	中央図書館・その他	0.006(F)***	中央図書館の方がフリースペース有	中央図書館・その他	0.006(F)	中央図書館の方が無料フリースペース有	中央図書館・その他	1.000(F)	中央図書館の方がメインの動線上に有
4000㎡以上	中央図書館	中央図書館・その他	1.000(F)	なし	中央図書館・その他	1.000(F)	中央図書館以外が無料フリースペース有	0.444(F)	中央図書館以外がメインの動線上に有	
中央図書館	施設形態	単独施設・複合施設	0.081(F)*	複合施設にフリースペース無しが出てくる	単独施設・複合施設	0.061(F)*	複合施設に無料フリースペース無しが出てくる	単独施設・複合施設	0.545(F)	単独施設の方が複合施設よりメインの動線上に有

(F) : Fisherの正確確率検定(両側)²²⁾, *: $p < 0.1$, **: $p < 0.05$, ***: $p < 0.01$ とする。

とから、中央図書館は大規模なためFSを設けているわけではないことが推測できた。

3-3. ヒアリング調査結果との比較考察

ヒアリング調査結果では、「図書館の立地」と「館内のフリースペースの有無」に関連性があるのではないかと推測できた。この推測を確認するため、「最寄り駅からの距離」と3種類のFSの有無で適合度検定を行った。しかし、表14より最寄り駅からの距離と3種類のFSの有無ではp値が有意になるものがなく、1200mで最寄り駅からの距離が遠い方がFSがある傾向が示唆されたが、統計的に明確にはなかったため、この推測を確認することはできなかった。

砧図書館をヒアリング調査した際に、FSを設けた理由として「単独施設であるから」というキーワードが出たことをもとに、単独施設であるほうがFSを設けているのではないかと予想し、同様に適合度検定を行った。表14より、全対象施設の施設形態と3種類のFSの有無の検定では、有意差(p<0.01)が認められた。よって、単独施設、メインの動線上にFSが存在する傾向が示された。さらに、中央図書館の施設形態においても有意差(p<0.1)が認められ、単独施設にFSが存在する傾向が見られる。これは、複合施設には図書館外にFSが設けられていることが多く、わざわざ図書館内に設ける必要がないからと推測される。

4. まとめ

最寄り駅からの距離とFSの有無は統計的に明確ではなかったため、図書館の立地と館内のFSの有無や内容には関連性が見られなかったが、図書館の規模、年度とFSの有無は関連性があることが示唆された。これらは、「新しい方がFS有」「単独施設の方がFS有」「大規模の方がFS有」という傾向が見られた。

また、各市区の中央図書館にはFSがある傾向があった。しかし、中央図書館にFSが多いことと図書館の規模が大きいことには関連がないことが分かったため、中央図書館は大規模であるからFSが設けられているわけではないと推測された。

謝辞

ヒアリングにご協力いただいた世田谷区・武蔵野市に謝意を表します。

注

- (1) ヒアリング実施日は2018.10.3である。
- (2) ヒアリング実施日は2018.10.18である。
- (3) ヒアリング実施日は2018.10.4である。
- (4) ヒアリング実施日は2018.11.28である。
- (5) ヒアリング実施日は2018.10.18である。
- (6) ヒアリング実施日は2018.10.25である。

参考文献

- 1) 文部科学省 図書館法
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_0

- 01/005.htm 2018.9.15 閲覧
- 2) 磯矢宗治, 大佛俊泰: 公共図書館の来館者数変動と立地特性, 日本建築学会大会学術講演梗概集(九州), pp157-158, 1998
- 3) 古田大介, 小島悠暉, 小松尚: 来館者の滞在を促す立地と館内空間の整備の傾向 滞在型公共図書館の計画と運営に関する研究 その1, 日本建築学会東海支部研究報告書, 第55号, pp449-452, 2017
- 4) 平成18年度 ねりまの図書館(平成17年度実績) 練馬区教育委員会事務局生涯学習部光が丘図書館 平成18年12月
- 5) 練馬区施設白書 平成25年版
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gyokaku/shisetsu/hakusho.files/4dai2shou.pdf> 2018.12.28 閲覧
- 6) 世田谷のとしょかん《世田谷区立図書館事業概要 平成30年度版》世田谷区教育委員会事務局 平成30年7月
- 7) 平成28年度 三鷹市立図書館 事業概要 三鷹市教育委員会 平成28年度11月
- 8) 豊島の図書館 平成28年度事業報告書 豊島区立中央図書館 平成29年8月
- 9) 平成28年度 渋谷区立図書館事業年報 平成29年11月
- 10) 武蔵野市の図書館 平成29年度 事業報告書 武蔵野市立図書館
<https://www.library.musashino.tokyo.jp/images/upload/H29%E3%80%80表紙から目次と概況まで%EF%BC%8E.pdf>; jsessionid=5099535880D30A2C8BFB621C84F050F5 2018.12.28 閲覧
- 11) 杉並区図書館要覧 杉並区立中央図書館 平成22年9月
- 12) 杉並区施設白書 平成30年度1月
http://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/040/228/04_2shisetuhakusyo2018.pdf 2018.12.28 閲覧
- 13) 数字で見る図書館活動(平成28年度版) 調布市立図書館 平成29年8月
- 14) 調布市公共施設白書 平成28年度
<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1461201475172/files/07.pdf> 2018.12.28 閲覧
- 15) 新宿区施設白書 平成28年
<https://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000194524.pdf> 2018.12.28 閲覧
- 16) 平成29年度 行政監査結果報告書 新宿区監査委員
<https://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000223982.pdf>
- 17) 目黒区立図書館基本方針 目黒区立八雲中央図書館 平成29年4月
- 18) 目黒区施設白書 平成25年
<https://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/koho/movie/hakusho2013/12yonshou.pdf> 2018.12.28 閲覧
- 19) 中野区施設白書 平成26年9月
http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/101500/d004002_d/fil/sisetuhakusho.pdf 2018.12.28 閲覧
- 20) 事業報告書 平成29年度版 中野区立図書館
<https://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/TOSH0/kankoubut-su/nakanolib29.pdf> 2018.12.28 閲覧
- 21) 板橋の図書館 平成29年度版 東京都板橋区 平成30年1月
- 22) 2x2 分割表解析
<http://www.grade-jpn.com/2x2.html> 2019.1.17 閲覧